

令和6年7月19日

父母教師会会員 各位

令和6年度 父母教師会 教養研修旅行の御案内

仙台一高 父母教師会 研修委員会

盛夏の候、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、仙台一高父母教師会では、昨年度に引き続き「教養研修旅行」を実施する運びとなりました。今回は「高島石が生み出した まほろばの里の産業と原風景」と題して、山形県高島町と南陽市を訪問します。合格祈願および学業成就として高島町の亀岡文珠、教養研修として高島町の史跡めぐり、南陽市でのブドウ狩りを通じて、保護者の皆様と先生方とで、教養と親交を深めたいと思います。

つきましては、実りある研修を計画・実施してまいりますので、会員の皆様にぜひ参加申し込みをいただきたく御案内申し上げます。

記

1. 開催日時

令和6年9月21日（土祝） 8：30～18：00

2. 行程

仙台駅東口（出発） → 亀岡文珠 → よねおりかんこうセンター（昼食） → 瓜割石庭公園 →
8:30 発
→ 旧高島駅 → 須藤ブドウ紫金園 → 道の駅やまがた蔵王 → 仙台駅東口（帰着・解散）
18:00 着

※交通状況により時間は前後する場合があります。また、バスの台数に応じて訪問順番を一部変更することがあります。

3. 参加費

おひとり様 5,000円（大型バス40名×3台利用（ガイド付）・昼食代・施設入場料・記念品代 込）
※実費との差額は、父母教師会からの補助金が充当されます

4. 参加申込方法

今年度から夏休み期間中に Web による「参加申込」を行い、夏休み明けに「参加費集金」を行います。

【手順1】 参加申込	受付開始 7月23日（火）～締切 8月10日（土） 先着順 各家庭配付のプリントの QR コードから画面の指示に従い、参加申込願います。（3日以内に受付番号が通知されます） ■ 誠に恐縮ではございますが、 締切日の前でも定員（120名）になり次第、締め切ります ので、早めのお申し込みをお願いいたします。 ホームページ掲載用につき、QRコード不掲載（各家庭配布のプリントに掲載）
【手順2】 参加費集金	参加費受取開始 8月22日（木）～支払締切 8月26日（月） 期間厳守 別紙「参加費支払書兼領収書」に受付番号等、必要事項を記入し、参加費（人数分）を添えて、お子様を通じて、学級担任または総務部 保科先生（音楽準備室）・柴崎先生（外国語科研究室）までお渡しください。

5. 注意事項

(1) 参加対象者

- ・ 父母教師会会員の方は、どなたでもご参加いただけます。
- ・ 保護者兩名での参加もできますが、保護者以外の御家族の方は御遠慮ください。

(2) 参加申込・集金

- ・ 手順1「参加申込 Web」⇒参加者おひとり毎に行っていただきます。(保護者兩名の場合 1回ずつ)
- ・ 手順2「参加費集金」⇒保護者兩名の場合、両名分をまとめて記入・納入するようにお願いします。

(3) その他

- ・ 万一の場合、PTA 団体傷害、賠償保険が適用になります。
- ・ 万一、旅行が中止になった場合は、キャンセル料等を差し引いた金額を返金いたします。
- ・ 個人都合による直前のキャンセルについては、返金できない場合があります。
- ・ お知り合いの方と近くのバス座席を希望される方は「参加費支払書」にその旨を記入してください。(同学年の会員同士に限ります。できるだけ御希望に添うように努めますが、調整が難しい場合は、御容赦願います)
- ・ 旅行当日、仙台帰着後に別会場にて、懇親会の開催を検討しています。「参加申込」をされた方には意向調査のメールをお送りしますので、必ず回答をお願いします。(参加は任意 費用は別途集金)

6. 研修先概要

亀岡文殊



日本三文殊の1つに数えられる山形県東置賜郡高島町「亀岡文殊(かめおかもんじゅ)」。

学問の神様として知られ、特に受験祈願や学業成就に絶大な御利益があると言われていいます。お子様の学業成就と共に保護者も人生を生きる知恵をいただきに「亀岡文殊」へのお参りはいかがでしょうか？

境内には飲めば御利益があるとされる湧き水「利根水(りこんすい)」があります。学徳成就の御札やお守り知恵の鉛筆なども販売されており、今回は希望者全員が入手できるよう「御朱印」の事前予約も行います。

瓜割石庭公園&旧高島駅



瓜割石庭公園は「高島石」の採石跡を整備したもので、その景観は訪れた人を圧倒します。黄色みのある凝灰岩の「高島石」は古墳時代の石室、江戸時代からは民家の石塀などに広く使われ、現在でも町内の至るところで見ることができます。

旧高島駅舎も瓜割石庭公園から採掘された「高島石」を用いて建てられ、国の有形文化財に登録されています。当時走っていた車両 ED1 型電気機関車やモハ1 型電車などがそのまま展示されています。

須藤ブドウ紫金園



須藤ぶどう酒は 1916 年に創業し、国内でも屈指の歴史をもつワイナリーです。

高島石を生み出した凝灰岩がどのように関係しているのかを学びながら、ブドウ狩りとワインの試飲を楽しめます。収穫できるブドウは生育状況にもよりますが、甘みが強く醸造用だけでなく、生食用としても重用されているマスカットベリーAやスチューベン等が食べられそうです。